

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



ついに日野病院に到着。  
新型コロナウイルスワクチン

2021年3月29日、待ちに待った新型コロナウイルスのワクチンが日野病院に到着しました。第一陣として、105人が2日間に分かれてワクチン接種を受けました。当院では、アレルギーの既往のある職員以外はすべてワクチン接種を希望しましたので、患者と接する機会の多い医師、看護師、技師から接種することになりました。

ワクチン接種の間診票は前もって提出しているため、当日は体温を測定するのみで接種可能となっていました。それでは、私が接種した臨床経過を状況中継します。

打つ時の痛みは？副反応は？  
ワクチン接種の実際

接種前日に、問診票を記載し提出しました。当日はあらかじめ体温を測定。36・5度でした。午後3時の予約時間に診察室に入り、体温を報告。シャツを肩までまくり上げながらいすに座ると、アルコール綿で消毒されるやいなや、細い針が左上腕の筋肉内に刺され、ワクチンが注入されました。針の痛みはほとんどなく、ワクチンを注入された後も痛みは出ませんでした。すぐに針は抜かれ、その間およそ1秒、あっといふ間の出来事です。全くと言っていいほど痛みはありませんでした。

ワクチンを接種した後は、アフライキシーが起らないか観察のため15分間の待機が必要です。一般の皆さんは、看護師さんの見守る待合室で15分間安静に待機した後、帰宅することになります。私も外来の診察室で15分休憩しました。特に何の変化もなく、仕事に戻りました。

午後6時ごろ（注射

後3時間）、注射をした部位に軽い痛みがあることに気がつきました。しかし、熱感や発赤はなく、そのまま帰宅。

午後11時（注射後8時間）、入浴前に体操をしようとしたところ、注射を打った左腕は痛みで上げにくいのですが、上がらないほどの痛みではなく、いつも通り体操はできました。特に腫れはありませんが、押さえると痛みがあります。

就寝時、左側を下にすると痛むため、右側臥位で寝ました。早朝4時頃、寝返りを打とうとして痛みがありました。ずきずきする痛みではなく、部位を押さえたときに痛む程度。寝返りをすると痛みましたが、眠れない程ではありません。

起床後（注射後17時間）、夜間よりは痛みが和らいでいるように感じました。体温は36・5度と、前日と同じです。昼過ぎ（注射後24時間）、痛みはどんどん薄れていき、就寝時（注射後34時間）自発痛はほとんどなく、翌朝（注射後40時間）、押さえても痛みはなくなりました。このように、私の体験では注射後10〜20時間ごろに痛み

がやや強くなりましたので、腕を上げたり、力を使う仕事をするときには支障が出るかもしれないかもしれません。

当院でワクチンを1回打った105人の副反応は、私のような局所の痛み以外に、発熱37・5度程度が1人、発疹が1人、かゆみが3人に出たようですが、いずれも軽症で、仕事はいつも通り行っています。

副反応は1回目より2回目の方がやや強いと報告されていますが、それでも軽度で心配する必要はないと思います。

重症化予防のために  
早めのワクチン接種を

変異型ウイルスが蔓延してきています。高齢者や基礎疾患のある患者さんは、一刻も早くワクチンを打つべきです。一部の変異ウイルスはワクチンの効果が減弱するとの報告もありますが、多くは有効であり、重症化の予防には大きく寄与するのではないかと思います。

鳥取にも第4波がやって来ています。従来の感染予防を行いながら、早めにワクチンを接種しましょう。